

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 財団法人 福岡 YWCA

1. 事業の趣旨・目的

日本語を母語としない人で子どもの日本語習得に悩む保護者や、出身国のコミュニティで同胞の日本語習得支援を志す人を対象として日本語指導者養成講座を開く。

経験を活かし社会貢献につながる働きを行うことで、受講者のエンパワメントも図ることができる

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月28日	福岡 YWCA 会館	栗山昌子、 江副史子、 佐藤倫子、 松崎啓子、 宮崎たねよ 山崎典子 野崎 千代	目的の共有、確認 対象者の検討 講座内容の検討 日程調整	・講座目的の確認、その目的のために、限られた時間で何を内容とするか。 ・日程、担当、募集方法について
10月28日	福岡 YWCA 会館	栗山昌子、 江副史子、 佐藤倫子、 松崎啓子、 宮崎たねよ 山崎典子 野崎 千代	これまでの募集状況報告 内容について詳細を協議	・広報先、申込状況報告 ・申込者との面談とレベルチェックの報告 ・内容の詳細打ち合わせ
1月18日	福岡 YWCA 会館	栗山昌子、 佐藤倫子、 松崎啓子、 宮崎たねよ 山崎典子 野崎 千代	ふりかえり 講座の報告 今後に向けて	内容、出席の報告 アンケートから受講生の感想・意見報告 講座の評価 改善点の協議 今後に向けての計画

【写真】



3. 養成講座の内容について

- (1) 講座名 外国人が学ぶ日本語指導者養成講座
- (2) 開催場所 福岡 YWCA 会館
- (3) 学習目標
 - ①初級日本語を教えるために日本語初級文法と文型の整理
 - ②学習者のニーズに沿う教え方があることを知る
 - ③経験を活かした教え方を考える
- (4) 使用した教材・リソース
- (5) 受講者の募集方法
募集チラシ配布、配架
市民センター、図書館、公民館、各交流団体、レインボープラザ、ボランティア教室上級者、外国語教室の講師、国際教会、大韓教会など
- (6) 受講者の総数 14 人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
出身・国籍別内訳 中国 6 人、韓国 6 人、マレーシア 1 人、オーストラリア 1 人
- (7) 開催時間数(回数) 25 時間 (全 6 回)
- (8) 参加対象者の要件 日本語能力 2 級以上 また同等の日本語能力があり、日本語を教える意欲がある人(20 歳以上)
- (9) 講座内容

回	開催日時	時間数	受講者数	講座名／学習内容	講師
①	11 月 9 日 10:00~15:00	4時間	14 人	日本語を教える前に/勉強することと教えることの違い/初級文法と文型の整理 ①自己紹介をかね、自分の日本語学習のなかで感じたこと、どのような日本語指導を考えているか発表。そこから出たものをもとに、教えるためには何が必要かを話し	元福岡女学院大学教授 栗山昌子

				<p>あう(グループワーク)/教える前に指導者としてすべきことを考える(学習者のニーズを知る、指導計画を立てる、何を教えるか考える、教材を選ぶ)</p> <p>②初級文法と文型の整理 I /動詞の活用</p>	
②	11月16日	4時間	14人	<p>日本語を教える前に/指導者としてすべきこと/初級文法と文型の整理 II</p> <p>①初級指導の実際(初級ではどのように教えるか、学習者があなたと勉強して何が出来るようになったかが重要)</p> <p>②初級文法と文型の整理 II /名詞文、動詞文、形容詞文</p>	<p>元福岡女学院大学教授 栗山昌子</p>
③	12月7日	4時間	13人	<p>学習者のニーズに沿う/小中学校の日本語指導</p> <p>①日本の小・中・高校の学校生活について説明、学校における多文化の子どもたちへの取り組み紹介、</p> <p>②大人の日本語指導との違いを考える、子どもの立場になって日本での生活を想像する(グループワーク)</p> <p>③学校で必要な日本語</p>	<p>元福岡県小学校教諭・日本語教師中村 洋子</p> <p>高等学校講師・日本語教師 山崎典子</p> <p>福岡市教育委員会指導員 和田玉己</p>
④	12月14日	4時間	12人	<p>学習者のニーズに沿う ボランティア教室では</p> <p>①初級文法と文型の整理 III て形の教え方、形容詞の副詞の作り方を確認、行為の授受について、条件文の留意点など</p>	<p>日本語学校教師・アマिकास日本語クラス 村上和子</p>

				②地域のボランティア教室で教える/必要な事は何か考える(学習者としてどうだったかをもとにグループワーク)	
⑤	1月18日	4時間	13人	会話の指導/教材について ①学習目標に合った教材の使い方 ②”会話”の教え方 ③初級文法と文型の整理 IV・普通形、禁止、許可などハンドアウトを使って文法知識の確認。「ない形」の作り方をどう教えるか、実際に行う。	元福岡大学非常勤講師 松崎啓子
⑥	1月25日	5時間	12人	①模擬授業の準備、これまでにについての質問 ②模擬授業を各自行う。発表時間は10分。先生からの評価 ③講座の感想	元福岡女学院大学教授 栗山昌子 元福岡大学非常勤講師 松崎啓子

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート 全体を通して

わかりやすかった	< 5(9人)	4(3人)	3	2	1	> わかりにくかった
役に立った	< 5(10人)	4(2人)	3	2	1	> 役にたたなかった

第1回 2011年11月9日(水) 日本語の教え方入門1

日本語を教える前に/勉強することと教えることの違い/初級文法と文型の整理 I

わかりやすかった	< 5(6人)	4(5人)	3(1人)	2	1	> わかりにくかった
役に立った	< 5(6人)	4(5人)	3(1人)	2	1	> 役にたたなかった

第2回 2011年11月16日(水)10時~15時 日本語の教え方入門2

日本語を教える前に/指導者としてすべきこと/初級指導の実際/初級文法と文型の整理 II

わかりやすかった	< 5(5人)	4(6人)	3(1人)	2	1	> わかりにくかった
役に立った	< 5(5人)	4(6人)	3(1人)	2	1	> 役にたたなかった

第3回 2011年12月7日(水)10時~12時 学習者のニーズに沿う教え方
日本の学校について 学校に必要な日本語

わかりやすかった<5(2人)4(6人)3(3人)2(1人) 1 >わかりにくかった
役に立った <5(2人)4(6人)3(3人)2 1(1人)>役にたたなかった
回答なし 1名

第3回 12月7日 13時~15時 学習者のニーズに合わせた教え方(年少者)・
小中学生の日本語指導について

わかりやすかった<5(2人)4(4人) 3(6人) 2 1>わかりにくかった
役に立った <5(2人) 4(3人) 3(7人) 2 1>役にたたなかった
回答なし1名

第4回 2011年12月14日(水)10時~15時 ボランティア教室で教えるために
初級文法と文型の整理Ⅲ

わかりやすかった<5(2人) 4(4人) 3(5人) 2 1>わかりにくかった
役に立った <5(2人) 4(4人) 3(5人) 2 1 >役にたたなかった
回答なし1名

第5回 2012年1月18日(水)10時~15時 教材の使い方/会話の教え方

わかりやすかった<5(10人) 4(3人) 3 2 1>わかりにくかった
役に立った <5(10人) 4(3人) 3 2 1 >役にたたなかった

第6回 2012年1月25日(水)10時~16時 模擬授業

役に立った <5(12人) 4 3 2 1 > 役にたたなかった

○第6回発表(模擬授業)について

もっと準備をして発表すべきでした。思った以上に参加者たちのレベルが高くて素晴らしい模擬授業でした。準備不足の自分が恥ずかしかったです。

誰かを教えることは、自分が知っていることとは、全然ちがうことでした。自分の知識を相手にわかりやすく伝えることが、こんなに難しいとは思っていなかったもので、本当にいい経験でした。これからはもっと勉強して誰かに、必要とされる人になりたいです。

自分も学習者なので何を教えれば役に立つかを探せました。でもまだ先生として経験が足りなくて、実際教える(発表する)と、いろいろと考えてなかったことにぶつかって、慌てました。これから現場

で経験しながら、もっと日本語の能力も上手になれば、いつかはきっと外国人にもっと良い先生になれると思いました。

1回では少ないです。もっとやって見たいです。

て形、ない形、可能形など、変化させても意味がおかしいものなど、発表(模擬授業)してみて、初めて教える準備が必要なことが、わかりました。

いろいろな教え方があるのが、わかりました。

○講座全体について

外国人が日本語を教える場合は、対象が主に同じ国の初級レベルの学習者になると思います。

その時に、文法や文型の説明とかの説明は日本人の先生よりもわかりやすいと思いますが、発音面でのネックがあると思いますので、日本語の発声法に関する勉強を設けてほしいです。

講座の企画に感心しました。

中国出身の場合、助詞が苦手なので、教え方をもっと詳しく勉強したいです。

演習をもっと増やしてほしいです。

日本語よりも、日本の文化や習慣の知識があまりなかったので、これまで戸惑うことがたくさんありました。お正月、お盆、結婚式、お葬式、法事などについて、もっと勉強したいです。

テキストの種類もたくさんあって、本だけではない、絵や音楽、CDを使って教えることができることがわかったし、使い方も工夫することで、学習者にとって役立つことがよくわかりました。

勉強する楽しさも教わって本当に楽しい時間でした。

楽しくてわかりやすい指導ができるように頑張ります。

初級の文法や知っているつもりであって、実はよくわかってなかった表現の違いなどもわかり、とても良い勉強になりました。

こんな講座があって、本当によかったです。どんな人々がどんなところで何を学ばばいいか、文法を教えるのに注意すべきは何か、など豊富な経験がある先生たちが教えてくださって助かりました。

ですが、6回ではちょっと短いです。模擬授業の機会が増すといいなと思います。

文法、文型の整理が教えるときに役立ちます。人に教える時に、もっと正しく、わかりやすい説明の仕方をもっと勉強したいです。

講義の中で、まだ自分がわからない日本語も出てきたので、もっと勉強したいです。

第1回目 11月9日



第4回目 12月14日 グループワーク



6回目 1月18日 模擬授業の様子



② 実施主体からの研修内容結果評価

目的: 日本語を母語としない人で、子どもの日本語習得に悩む保護者や、出身国のコミュニティで同胞の日本語習得支援を志す人を対象とする日本語指導者の育成
講座の目的のために設定した目標

- ①自分の日本語を見直す→初級日本語文法と文型の整理
- ②「教える」時に気をつけることを知る→学習者のニーズに沿う(相手中心)ことに
気がつく

地域社会で暮らすための日本語指導、高校や大学の進学を控えた子どもの日本語指導、来日間もない低学年の子どもの日本語指導、職場(例:介護現場)で必要な日本語の指導

→いろいろな教え方がある。教える人が教えたい方法で行うのではない、学習者のニーズに応える教え方がある。直接法、媒介語を使うなど多様な教え方があることを知る。学習者にわかりやすい指導を考える

- ③自分の経験を活かす②自分の日本語学習の経験を活かす
経験を活かすことは強みだが、自分の経験だけに頼ると学習者が求めている指導、必要とされることがわからなくなる恐れがあることも伝える。

講座の評価

- ①自分の日本語を見直す→初級日本語文法と文型の整理について

日本語上級者のため、通常の日本語会話に大きな間違いはないが、一人ひとり文法の勘違いや誤用が異なる。初級の文法と文型の見直し、教える時のポイントは、大変好評であった。上級レベルの人は地域のボランティア教室では満足できるところが少なく、また通常の生活には困らない上級のため授業料を払って再度日本語学校で学ぶのも躊躇するため、自分の誤りや疑問を正せないままという人が多い。

「自分の日本語のどこかがおかしい、教えたいけど自信がない」との自覚があり、この講座で、初級の文法と文型の見直しができ安心したとの意見が多かった。

文法、文型は退屈するのではないかと心配していたが、非常に熱心であった。

中国、韓国出身者が多く学習スタイルが似ていたということも考えられる。

今回の受講者にとって、成果があった。

②教える時に気をつけること→学習者のニーズに沿う(相手中心)ことに気がつく
について

教えたい意欲、モチベーションが高いため、却って教える立場(自分)中心になりがちであるが、これは日本人の日本語教師養成講座においても同様であり、今回の短期間の講座においては、学習者のニーズに沿うことが大切であること、ニーズに応じた教え方がいろいろあることを共有できたことをよしとする。

③自分の経験を活かすについて

教材の使い方や、自作の教材に経験が活かされていた。

文法、文型など混乱しやすい箇所について教えるポイント等、非常に熱心に学んで、質問も教えることを念頭においてものが多かった。

学習経験だけでなく教えた経験がある人は、教えた経験も活かされていた。

アンケートにもあったが、今回は発音についての時間はとってないが要望が多かった。次回は検討したい。

④全体を通して

・自分の周囲だけに限らず、将来は仕事としても教えたい希望を持っている人が多い。自分の特性や経験を生きる手段に結び付ける積極性、行動力がある。そのスタートとして本講座は貢献できた。

・模擬授業での積極性、創意工夫、ひたむきさなど、こちらが勉強になることも多かった。このような人材・特性を日本のなかで活かし影響しあうことが、これからの社会に必要であり希望につながる気がした。

・短期間の講座であったが受講生が非常に熱心であり、講座主体と受講生が共に良い学びの時間を作りあげた。今後も継続して開催し、生活者としての外国人にための日本語教育事業に貢献したい。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・外国人が学ぶ日本語指導者養成講座の開催
- ・多文化の子どもの学習支援の充実
- ・就学支援講座、就労支援講座開催など

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

福岡市教育委員会の日本語特別授業の指導員登録

定住外国人支援 NGO での日本語指導者としてネットワークを拡げる

② 研修後の人材活用

- ・福岡 YWCA のハッピースクール(子どもの学習支援)の来日直後の子ども担当

・福岡市教育委員会の日本語指導員の登録を受講者に推進

(12) 今後の課題

・地域的に中国、韓国出身の方が多く、実施場所が特に中国、韓国出身の方が多くエリアから通しやすい場所であったことで、中国、韓国出身の方ばかりになった。講座はやりやすかったが、フィリピン出身者のグループから通しやすい場所で是非開催してほしいと要望されている。来年度、場所などを含め検討する。

以 上